

第62回NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会実施要項

主 催 山梨県高等学校文化連盟放送部門部会 NHK甲府放送局
後 援 山梨県教育委員会 山梨県高等学校教育研究会教育情報・視聴覚部会

日 時 平成27年 6月19日(金) 13:00~17:00 創作ドラマ(ラジオ・テレビ)部門**非公開審査**
※NHK甲府放送局にて、NHK審査員・顧問審査員にて審査(NHK杯担当立ち会い)

平成27年 6月20日(土) 公開審査及び創作ドラマ部門公開

8:45~ 9:00 -----出場者(校)受付(会場外特設受付にて。受付後は速やかに開会式会場へ)
8:55~ 9:10 -----番組部門審査員・運営員およびアナウンス部門・朗読部門審査員打ち合わせ
9:00~ 9:15 -----出場生徒へ大会実施概要説明・諸注意等
9:15~ 9:20 -----開会式(部会長挨拶・審査員紹介)
9:25~ -----各部門コンテスト開始
(各部門ごとに、切りのいいところで昼食・休憩)
12:00(予定) -----アナウンス部門予選終了・全出場者へ決勝課題原稿配布
12:50(予定) -----アナウンス部門決勝進出者発表(13:00決勝点呼(予定))
13:00(予定) -----朗読部門予選終了・全出場者へ決勝課題原稿配布
13:50(予定) -----朗読部門決勝進出者発表(14:00決勝点呼(予定))
~14:30 -----コンテスト全部門終了
15:00~15:40 -----研究講座 第一部(各部門会場にて全作品に対するアドバイス等)
15:50~16:05 -----表彰式
16:10~ -----生徒:研究講座 第二部(全国大会出場作品を中心に)
顧問:全国大会出場者手続き(事務局)
16:50 -----完全退館(皆様のご協力をお願いいたします。)

場 所 びゅあ総合 甲府市朝気1-2-2 (TEL. 055-235-4171)
※6/19(金)非公開審査は、NHK甲府放送局にて行います。非公開ですので観覧等はできません。

審査員 各部門とも、 NHK1 高教情視2 計3

実施部門(エントリー数) (*詳細は「校内放送研究 NO.166 2015,3」を参照。熟読してください。)

- 1 アナウンス部門: **3名** 1分10秒~1分30秒以内。自校の校内放送に使用する内容とし、原稿は生徒が自作したものに限る。他のコンクールに参加した作品の手直しなどでの出場は認めない。 決勝は、別に課題あり。
 - ・一次予選-----個人の原稿のみをアナウンスする。
 - ・決 勝-----当日与えられる課題ニュースのみをアナウンスする。*入賞者の決定は、一次予選及び決勝の得点を合算して行う。
(10名程度が決勝へ進出し、うち6名が全国大会へ出場する)
- 2 朗 読 部 門: **3名** 指定作品(「校内放送研究」参照)より1つ選び、**1分30秒~2分以内**で朗読する。 決勝は、別に課題あり。
 - ・一次予選 -----指定された作品を朗読する。
 - ・決 勝 -----当日与えられる課題のみを朗読する。*入賞者の決定方法及び、全国大会の出場人数は、アナウンスと同じ。
- 3 番 組 部 門: ①**ラジオドキュメント・1本** -----高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。
 - ・**6分30秒~7分以内**。CD-Rに、CD-DA形式(音楽CD形式と同じ)で録音する。
 - ・ドルビー等使用不可。
 - ・最後に「制作は〇〇高等学校放送部(委員会等)でした。」というクレジットコールを入れる。
 - ・計時は、最初の音から、クレジットコールの終り「制作は〇〇でした。」までとする。②**テレビドキュメント・1本** ----- ラジオと同じ。
 - ・**7分30秒~8分以内**。
 - 作品は、DVD-RにDVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比4:3または16:9のいずれか)で作成する。
 - ・番組の前後に、**5秒ずつ(様式3)のテストパターン(カラー)**を録画する。この際、テストパターンを

改変してはいけない。テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認めない。

- ・作品の最後に「制作：〇〇高等学校放送部(委員会等)」というクレジットタイトルを入れる。
- ・計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。

③創作ラジオドラマ・1本

④創作テレビドラマ・1本

- ・ともに時間は8分以内。出演者は自校生徒に限る。
- ・脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。文芸作品などからの脚色や改作は認めない。
- ・その他の規定は、それぞれのドキュメント部門の注意に従うこと。

※ 校内放送研究発表：コンテスト形式ではなく発表会で、2校まで全国大会に参加できる。

但し、2校を超える出場があった場合は、審査員の合議により全国大会への派遣校を決定する。

備 考

1. どの部門も、応募にあたっては必ず「校内放送研究 No. 166」を熟読してください。
2. 制限時間は必ず守ってください。(今年度より規定時間を少しでも超過すると即失格です)
3. 原稿・台本は決められた様式で、規格用紙を使用し4部提出してください。エントリー番号は、全国大会用なので空欄にしておいてください。なお県大会の番号は当日お知らせいたします。
4. アナウンス・朗読部門では、校名は読みません。エントリー番号の後に、すぐ氏名を言います。
5. 朗読は「書名(作品タイトル)」を読んでください。**指定作品1) 3) は選定した短編名を作品名として読みます。**訳者も読みません。朗読のはじめに、番号、氏名、朗読指定作品の著者名、書名を読み、これらも規定時間に含まれます。朗読部門は、作品の抽出箇所の開始ページを記入します。細かい注意があります、No.166を参考にしてください。**抽出は必ず文頭から開始し、文末で終了**してください。
6. 番組部門では機器の操作は事務局で行いますが、各校の代表生徒一名はバックアップ(CDまたは、DVD)を持参し、決められた場所に着席してください。
7. 番組・創作ドラマ部門の提出作品には、**CDまたはDVDに指定のラベル(タイトル・学校名を記入)**を印刷します。提出用台本は、「校内放送研究 No. 166」の規定に沿って作成してください。

規定用紙はすべてコンテストホームページからダウンロードして使用してください。見本を拡大コピーしないでください。著作権に関しては、各学校で処理(様式2-4)してください。BGMやSE等は、極力著作権フリー(コンテスト委員会監修)のものや、自作するのが賢明です。**様式2-3の一覧表は、著作権フリーのものを使用しても自作したものを使用しても、すべてを記入して添付**します。著作物(BGM・SE・その他)を使用しなかった場合も「著作物使用無し」と記入し必ず添付してください。

8. 番組制作に当たっては、番組に登場する出演者・協力して頂いた方々などに放送のための承諾を書面にて得てください。
9. 放送コンテスト委員会が監修している「**Arky**」「**EXインダストリー**」の音源CDおよび「**NHKクリエイティブ・ライブラリー**」については著作権(含・隣接権)処理不要のものです。これら以外で、著作権フリーの素材を使用する場合はジャケットのコピーなど、フリーであることが照明できるものを添付すること。以前、無料で使用が認められていた「**エンドレスエコー**」のものについては、著作権処理が必要となります。Web上で配信されている楽曲等の使用については、禁止とします。

10. 著作権処理が必要な音源・映像等については各校で事前に処理し、一般の手続きを終えた後そのコピーを台本に一部添付してください。**著作権処理がされていない作品は、失格**とさせていただきます。

11. 全部門を公開とします。各校とも放送部の活動の参考になるよう、全部員の参加を推奨します。

12. 申込は各部門とも、原稿・作品(CDまたはDVD・台本)を添えて提出してください。

別途、メールでの参加申し込みもお願いします。**締切り時刻を過ぎて提出されたものは、オープン参加**となります。提出後の原稿の差し替えは受け付けません。(大会当日の状況によっては発表できない場合有り)

13. 原稿用紙はすべてコンテストホームページからダウンロードして使用してください。

「URL : <http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/>」です。

14. 規定その他わからないこと疑問に思った点は、**富士河口湖高校・川手里佳(全国大会運営員)**へ遠慮無く質問ください。直接、全国大会事務局へ問い合わせはしないでください。

締切り : 参加申し込み(メール) 6月 11日(木) 15:00(午後3時)

作品(作品、台本・原稿それぞれ4部) 6月12日(金) 13:00(午後1時) 時間厳守

※メールにて申し込まれた作品以外は受け付けません。

提出先 : 〒401-0301 富士河口湖町船津 6663-1 富士河口湖高等学校 放送部顧問 川手 里佳

連絡先 : TEL 0555-73-2511 FAX 0555-73-2513 e-mail rikakawa@kai.ed.jp

※注 意※ 建物の外での発声練習は、ご遠慮ください。